

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2001-018260
起案日	平成15年11月27日
特許庁審査官	岩井 健二 9465 5D00
特許出願人代理人	高橋 勇 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

A. この出願の請求項 1～12 に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

引用文献1に記載された発明と本願発明は、本願発明の指数はパワー P_w1 の2乗に反比例しているのに対し、引用文献1の目標値は最適記録パワー P_0 に反比例している点のみで相違している。

ランニングOPC等に用いられる指数(目標値)は当業者が適宜変更し得るものであり、本願発明のように2乗に反比例させる程度のことは当業者が容易に想到し得る程度のことである。また、本願発明は2乗に反比例させたことによって格別の効果を奏するものではない。

したがって、本願の請求項1～12に係る発明は引用文献1に基いて当業者が容易になし得たものである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平9-91705号公報

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

(1)請求項1、4、11、12において、Pw1の2乗が用いられているが、2乗を用いたことの技術的な根拠が不明瞭である。(1乗、1.5乗、2.5乗、3乗等を用いた場合に比べ2乗が格別に優れているのであれば、2乗を用いることは格別のものではない。)

(2)請求項1、4において、指数を求めることの技術的意味が不明瞭であり、請求項1、4に係る発明が全体として何を行っているのか不明瞭である。

よって、請求項 1～12 に係る発明は明確でない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C 第 7 版
 G 1 1 B 7 / 0 0 - 7 / 0 1 3
 G 1 1 B 7 / 1 2 5
- ・先行技術文献 特開 2 0 0 0 - 2 1 5 4 5 4 号 公 報
 特開平 1 0 - 6 4 0 6 3 号 公 報
 特開平 9 - 2 8 8 8 2 7 号 公 報
 特開平 9 - 2 7 0 1 2 8 号 公 報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 情報記録 岩井 健二

TEL. 03(3581)1101 内線3550 FAX. 03(3501)0715

MIYAKI-U.S. Pat. Appl. 10/056,033
Ref. IPS 1971

The invention recorded in Citation 1 and the invention of the present application differ only in the point that, relative to the fact that the index of the invention of the present application is inversely proportional to the 2nd power of power Pw1, the target value of Citation 1 is inversely proportional to the optimally recorded power P0.

The index (target value) used in a running OPE and the like can be appropriately change by one skilled in the Art, and making it to be inversely proportional, as described in the invention of the present application, could be easily accomplished by one skilled in the Art. In addition, the invention of the present application achieves no exceptional effect by accomplishing an inverse proportion to the 2nd power.

Furthermore, the invention relating to Claims 1-12 of the present application could be easily accomplished by one skilled in the Art.

Reference Citation List

1. Japanese Laid Open Patent Publication Hei 9-91705 *prev. cited*

Record of the Examination Results relating to Documents of
the Prior Art

- Examined Technical Field: IPC 7th Edition

G11B7/00-7/013
G11B7/125

Documents of the Prior Art

Japanese Laid-Open Patent Publication 2000-215454 *prev. cited*
Japanese Laid-Open Patent Publication Hei 10-64063
Japanese Laid-Open Patent Publication Hei 9-288827
Japanese Laid-Open Patent Publication Hei 9-270128 *prev. cited*

The record of the examination results relating to documents of the prior art does not constitute the grounds for rejection.